

明治維新150年記念企画
幕末狩野派展

2018年9月11日(火)－10月28日(日)

江戸幕府崩壊－そのとき、栄華を極めた狩野派の絵師たちに何が起こったのか？

2018年は、江戸幕府が無血開城し、明治維新によって日本が新しい時代を迎えることとなった1868年からちょうど150年という節目の年に当たります。

全国各地で、その記念イベントがさまざまに企画されるなかで、静岡県立美術館では、幕末に活躍した狩野派の絵師たちを取り上げた展覧会を開催します。

近代日本画への道を切り拓いた幕末狩野派の絵師たちの全貌に迫る展覧会です

明治時代、江戸絵画を批判的に振り返る傾向が強まるなかで、江戸時代後期の狩野派については、最近まで評価の低い時代が続きました。しかしながら、400年におよぶ狩野派の歴史のなかで培われた技術や知識を駆使し、時代に合わせて新しい表現を採り入れた幕末狩野派の絵師たちが描いた作品は、彼らに対するこれまでの不当なまでに低い評価が誤ったものであることを物語っています。

本展は、日本絵画史上まれにみる活躍を見せ、400年にわたり画壇の中心にいた狩野派の絵師たちが、幕末という動乱期に、何を、どのように描いたのか、包括的に紹介する初めての展覧会です。当館は、開館以来、江戸時代の狩野派の作品を収集し、全国有数のコレクションを形成してきました。「幕末狩野派展」は、開館以来、継続して江戸時代の狩野派の作品を集め、研究を牽引してきた当館ならではの企画です。

幕末の歴史ファン必見！ 幕末の江戸絵画の傑作が集結します

動乱の時代である幕末の物語は時代劇や大河ドラマなどで人々に愛され、その文化に対する関心も高く、今年は「幕末」をキーワードにした展覧会が数多く開催されています。本展では、幕末期の絵画作品に焦点を当て、幕末の爛熟した文化を感じさせる華麗な作品、尊皇攘夷活動の中で醸成された王朝趣味が濃厚に表れた作品、あるいは近代に先駆ける革新的な作品などを通じ、幕末の絵画の個性、きらめきをお楽しみいただきます。



かのうえいがく
狩野永岳「三十六歌仙歌意図屏風」(静岡県立美術館)



かのうえいがく
狩野永岳「富士山登龍図」(静岡県立美術館)



れいぜいためちか
冷泉為恭「鷹狩・曲水宴図襖絵」(個人蔵)(部分)



かのうおきのぶ
狩野養信ほか「江戸名所真景図」(東京国立博物館)

江戸絵画ファン必見！ 近年人気の個性派の絵師たちの作品がみられます

本展では、近年の国内外の展覧会で数多くの入館者を動員した狩野一信^{かのうかずのぶ}など、現在人気のある江戸狩野派の絵師たちの作品も展示されます。彼らの作品はどこから生みだされたのか、その創造のルーツをたどるのは、本展が初めての試みとなります。

狩野派ファン必見！ 新出作品を多数公開します

幕末狩野派の有名な大作・傑作以外にも、新出作品や初公開作品が多数展示される点もお見逃しなく。これらの作品を通じて、江戸絵画の新たな一面をお伝えします。



かのうかずのぶ
狩野一信「五百羅漢図 第21幅」(増上寺)



かのうながのぶ
狩野栄信「帝鑑図」(個人蔵)

■ 展覧会構成 ■

- 第一章 江戸後期江戸狩野派の革新
- 第二章 幕末狩野派様式の完成
- 第三章 幕末狩野派の創造性
- 第四章 狩野派の崩壊と近代のはじまり

■ 展覧会概要 ■

- 展覧会名 幕末狩野派展
会 期 2018年9月11日(火)–10月28日(日)
※巡回先なし
開館時間 10:00–17:30(入室は午後5時まで)
休 館 日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
主 催 静岡県立美術館、静岡朝日テレビ
観 覧 料 一般 1,000円(800円)、70歳以上 500円(400円)、大学生以下無料
※()内は前売り・団体料金 ※身体障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
関連事業 記念講演会・館長美術講座・美術講座・フロアレクチャー

※本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券(5組 10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。詳しくは、「広報用画像利用申込書」をご覧ください。

担当者／連絡先 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53-2
学芸課 野田麻美／総務課 塚口佑太
TEL:054-263-5857(学芸課)054-263-5755(総務課)